

情報通信審議会
IoT新時代の
未来づくり
検討委員会
第5回障害者
SWG

一般社団法人

全国地域で暮らそうネットワーク
(チイクラネット)

代表理事 岩上 洋一

理事 鈴木 篤史



チイクラネットは、長期入院精神障害者の地域移行にむけた社会的課題を解決すること。未来の創造のもと、希望する地域で自分らしく生活することができる持続可能な社会づくりに寄与することを目的とした法人です。そのための実践強化、人材育成、政策提言を主な活動としています。

I 総論

(1) 障害に対する社会の側の意識の変革

- ・ 例えば、埼玉県にあるNPO法人じりつでは、障害があるにかかわらず、お互いを大切にする心を育てたいと考えている。毎秋、町内7つの小中学校で障害者自らが体験談と他者への感謝の気持ちを伝えている。
- ・ 小中学生は「友だち、家族、大切な人への感謝のメッセージ」を紙コップに書いて、じりつが主催するキャンドルナイトに参加する。
- ・ 3,000個の紙コップは、キャンドルの灯りに照らされてメッセージを浮かび上がらせる。「お母さんいつもありがとう」「おばあちゃん長生きしてね」「ずっと友だちでいようね」など。
- ・ その他、疑似体験以外に、障害者と協働で、福祉教育の基盤となる「お互いを大切にする心を育てること」を目標としたプログラムを開発している。
- ・ あなたの心の色は何色かと聞かれたときに「ブルー」と答えた場合に、同じブルーでもさわやかな気持ちを表現していることもあれば、沈んでいる気持ちを表していることもある。
- ・ このようなプログラムを通して「あなたも大切、私も大切、みんな違ってみんないい」という共生社会の思想を学んでいる。
- ・ 地域組織化、ソーシャルインクルージョンの推進のために福祉教育は重要な鍵となる。
- ・ こうしたアナログな取り組みは全国各地で行われており、具体的な情報を共有するための技術としてIoT、AI等の活用を期待したい。



- I 総論 (1)障害者のICT利活用支援の環境整備のあり方
- II 各論 (1)情報アクセシビリティ政策の強化
- II 各論 (2)障害者のICT利活用スキルの習得を支援する仕組みの構築
- II 各論 (7)オープンデータの推進

- 例えば、国立精神神経医療研究センター精神保健研究所社会復帰部では、共同意思決定 (Shared decision making: SDM) を促進するPCツールを開発している。

以下、ホームページより引用する。

<http://www.ncnp.go.jp/nimh/fukki/research/04.html>

- 共同意思決定 (SDM)は、精神科医療サービスの利用者と医師(専門家)が治療ゴールや治療の好み、責任を話し合っ、2人で適切な治療を見つけ出すこと。
- 精神疾患を経験し、自身も精神科医療のサービスを利用した経験のあるピアスタッフと協働する新しい共同意思決定 (SDM)システムを開発している。
- ここでの共同意思決定 (SDM)システムでは、自身の人生の目標や主体的価値などの情報を診察で医師に伝えるために、診察前に利用者はSHARE (Support for Hope And Recovery) というパソコンソフトを用いて、ピアスタッフの補助のもとそれらの情報を整理し、入力する。
- パソコンソフトSHAREに入力された情報は電子媒体に保存され、また医師との診察用に情報が集約された紙面媒体 (A4サイズ)として印刷される。この紙面媒体を用いて、利用者と医師は診察を進め、診察の最後に治療や支援の意思決定を一緒に実施する。

日常生活場面における意思決定のための補助ツールの開発に期待したい。言うまでもなく、そのツールが意思決定の主体とならないことが前提となる。

例えば、思考がまとまりにくい、段取りがうまくできない、意欲の低下等の障害の特性を補うものとして、

- 1)意思決定の補助ツール:情報伝達ツール
- 2)意思決定の補助ツール:会話補助ツール
- 3)本人にとっての一大事を解決する補助ツール・スキル向上ツール
- 4)意欲喚起(特に長期入院者の退院意欲)・エンパワメントのための補助ツール
- 5)権利行使のための補助ツール
- 6)自分の状況を適宜、客観的に理解できる補助ツール

その他、期待したいこと。

- 特に入院中の人、ひきこもりがちな人等が、ICTを身近なものとして活用できる。
- 必要な情報を得ることで、自らのニーズを解決するための段取りがわかり、必要な支援が受けられる。例えば、早期治療につながるツール、必要なサービスが選択できることなど。
- 支援者も必要な社会資源データをスムーズに選択して活用できる。例えば、googleマップなどと連動して、精神障害者が使える資源がポップアップされる。
- 声なき声のニーズを把握することも含めたニーズ集約システム。